

# 病害虫発生予察情報

## 9月月報

令和5年10月19日  
東京都病害虫防除所

### 1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2023年 9月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	31.1	1.4	23.1	1.6	26.6	1.4	136.5	171	53.2	110
中旬	32.7	4.9	23.8	4.1	27.7	4.3	6.5	8	79.2	182
下旬	28.6	3.4	20.7	3.5	24.2	3.4	82.0	100	39.2	102
平均	30.8	3.2	22.5	3.0	26.2	3.1				
合計							225.0	91	171.6	132

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1991～2020年の平均値）からの差（比）

上旬：高気圧に覆われて晴れの日もあったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。8日は台風第13号が日本の南海上を北上した影響で大雨となった。期間の前半は暖かい空気に覆われたため気温のかなり高い日が多くなった。

中旬：前線や湿った空気の影響で期間の中～終わり頃に雨や雷雨の日があったが、全般に高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。期間を通じて暖かい空気に覆われたため気温のかなり高い日が続いた。

下旬：高気圧と前線が交互に通過し、数日の周期で変化した。22日は、湿った空気や上空の寒気の影響で大雨となった。期間の後半は暖かい空気に覆われたため気温のかなり高い日が多くなった。

### 2 作物生育概況

#### (1) イネ

中旬から稲刈りが始まったが、高温の影響で登熟が早まっていた。乳白米や胴割れ米の発生が多かった。

#### (2) 野菜

果菜類：イチゴは花芽分化が遅れ、定植の遅れがみられた。ナス、ピーマンで日焼け果の発生が多かった。

葉菜類：高温乾燥の影響で葉茎菜類の定植が遅れた。一部、灌水をしても定植がみられた。

根菜類：天候の影響でニンジンの発芽率は低いが、生育は順調であった。

イモ類：サツマイモの収穫が始まり、収量は平年並みであった。サトイモは肥大が悪かった。

## (3) 果樹

農林総合研究センター果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

ブドウ：‘巨峰’の収穫終わりは4日早かった。

‘巨峰’収穫終 9月15日（－4日）

ナシ：収穫終わりは、‘幸水’で7日、‘稲城’で2日早く、‘豊水’は平年並であった。

‘幸水’収穫終 8月24日（－7日）

‘豊水’収穫終 9月15日（±0日）

‘稲城’収穫終 9月6日（－2日）

## (4) 茶樹

9月後半のまとまった雨により、例年より新芽が伸びていたが、深刈りしたときに芽が無くなるのが心配された。病虫害については薬剤散布により抑えられていた。

## 3 病虫害の発生概況

## (1) イネの病虫害

いもち病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< やや多 >	発生はやや多かった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## (2) 果樹の病虫害

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナシヒメシンクイ	< やや多 >	発生はやや多かった。

果樹共通

カメムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
-------	---------	------------

## (3) 茶樹の病虫害

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

## (4) 野菜の病虫害

トマト

黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。
キュウリ (施設)		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
トマトハモグリバエ	< 多 >	発生は多かった。
ナス		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
キャベツ		
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ダイコン		
軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラナ科野菜共通		
キスジノミハムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハイマダラノメイガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ホウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニンジン		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
キアゲハ	< 少 >	発生は少なかった。
サツマイモ		
イモキバガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナカジロシタバ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ハスモンヨトウ	< 並 >	発生は平年並であった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 並 >	発生は平年並であった。
タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネキリムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

## (5) 花きの病害虫

## シクラメン

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

## (6) 島しょの病害虫

- 三宅島：コルディリネでハスモンヨトウの発生が多かった。  
 八丈島：キキョウランでカイガラムシ類の発生がやや多かった。  
 小笠原：父島のかんきつ類でリュウキュウミカンサビダニの発生がやや多かった。  
 その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

## 4 侵入調査

ウリミバエ	< 誘殺なし >
クインズランドミバエ	< 誘殺なし >
チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
トマトキバガ	< 誘殺なし >

## 病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/enzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、  
防除のポイントなどをお知らせしています。